



# 宅部池で採集された植物プランクトン

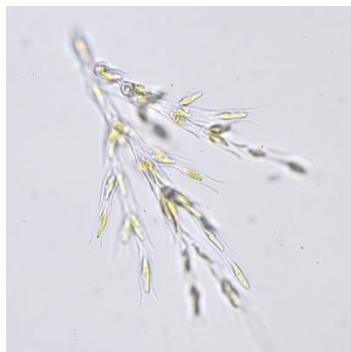
※参考資料：やさしい日本の淡水プランクトン

## 植物プランクトン

細胞に葉緑素をもち、光合成をして自分でデンプンなどをつくって生活しています。

葉緑素以外の色素をもっていることもあり、水の色と深い関係があります。

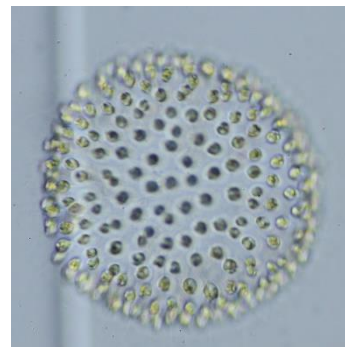
植物プランクトンのなかまには鞭毛(べんもう)を使って、泳ぐなかまもいます。



## ディノブリオン

群体の大きさ：約220 $\mu$ m

特徴：細胞は細長く、深めの花瓶のようなさやの中に入っています。サヤツナギとも呼ばれます。



## ウログレナ

群体の大きさ：約100 $\mu$ m

特徴：球形や楕円形の集まり(群体)をつくって生活しています。回転しながらよく動きます。



## アウラコセイラ

細胞の長さ：12 $\mu$ m

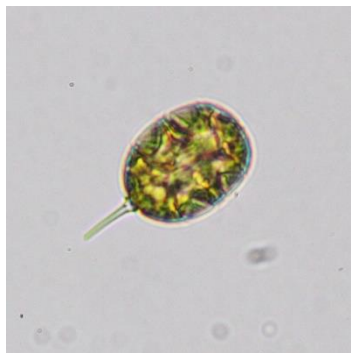
特徴：体は丸い筒状です。細胞の端がギザギザでファスナーが閉じたようにつながっています。



## ケラチウム

大きさ：約130 $\mu$ m

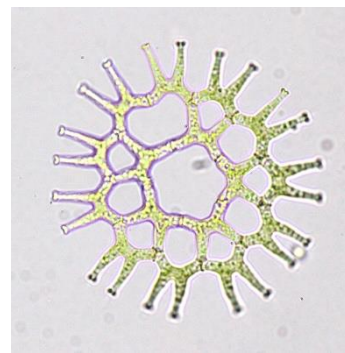
特徴：一つの細胞でできています。細胞のまわり殻の一方に1本、反対側に2、3本の突起があります。



## トラケロモナス

大きさ：約40 $\mu$ m

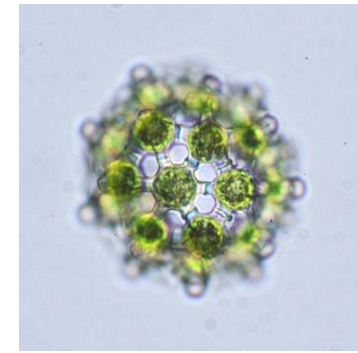
特徴：湖沼にいるプランクトンとしてよく見つかります。細胞はからの中に入っています。



## フタヅノクンショウモ

群体の大きさ：約100 $\mu$ m

特徴：複数の決まった数の細胞が丸く並び、勲章のような形の群体を作っています。2本の角があります。



## コエラストルム

群体の大きさ：約60 $\mu$ m

特徴：球形や多角形の細胞が8個か16個か32個くっついてスポンジボールのような群体を作ります。



# 宅部池で採集された動物プランクトン

※参考資料：やさしい日本の淡水プランクトン

## 動物プランクトン

細胞に葉緑体をもたないので、光合成ができません。植物プランクトンや動物プランクトンを食べて生活しています。

鞭毛(べんもう)、繊毛(せんもう)、偽足(ぎそく)などを使って運動します。



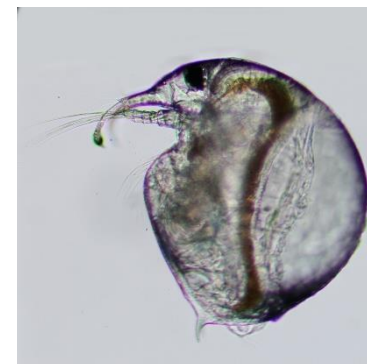
## ノープリウス

大きさ：約200μm  
特徴：右のケンミジンコの幼生です。脱皮をくり返して成長していきます。



## ヒゲナガケンミジンコ

大きさ：約1mm  
特徴：とても長い触覚をもっています。左のノープリウスが成長した姿です。



## ゾウミジンコ

大きさ：約0.5mm  
特徴：頭が少し下向きで吻(ぶん)の先にゾウの鼻のような長い触覚があります。



## ハナビワムシ

大きさ：約280μm  
特徴：つりがね形の体に花びらのような大きな頭をもち、伸び縮みます。



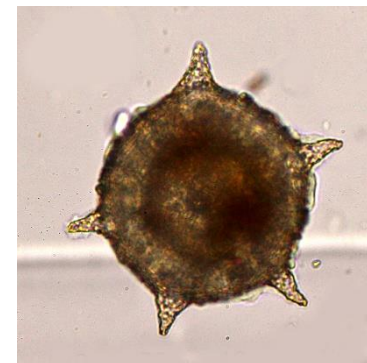
## カメノコウワムシ

大きさ：約130μm  
特徴：殻に「亀の甲羅」のような模様、殻の前に6本後ろに1本のとげがあります。



## ズーサムニウム

個体の大きさ：約70μm  
特徴：群体性で柄は折れ曲がって収縮します。刺激を受けると群体全体が収縮します。



## ツボカムリ

大きさ：約120μm  
特徴：砂つぶなどを集めて自分の殻を作ります。殻は卵型で突起をもつ種類もあります。